

根浜海岸復興 養浜技術検討委員会

第1回

平成29年5月29日 13:30～15:30

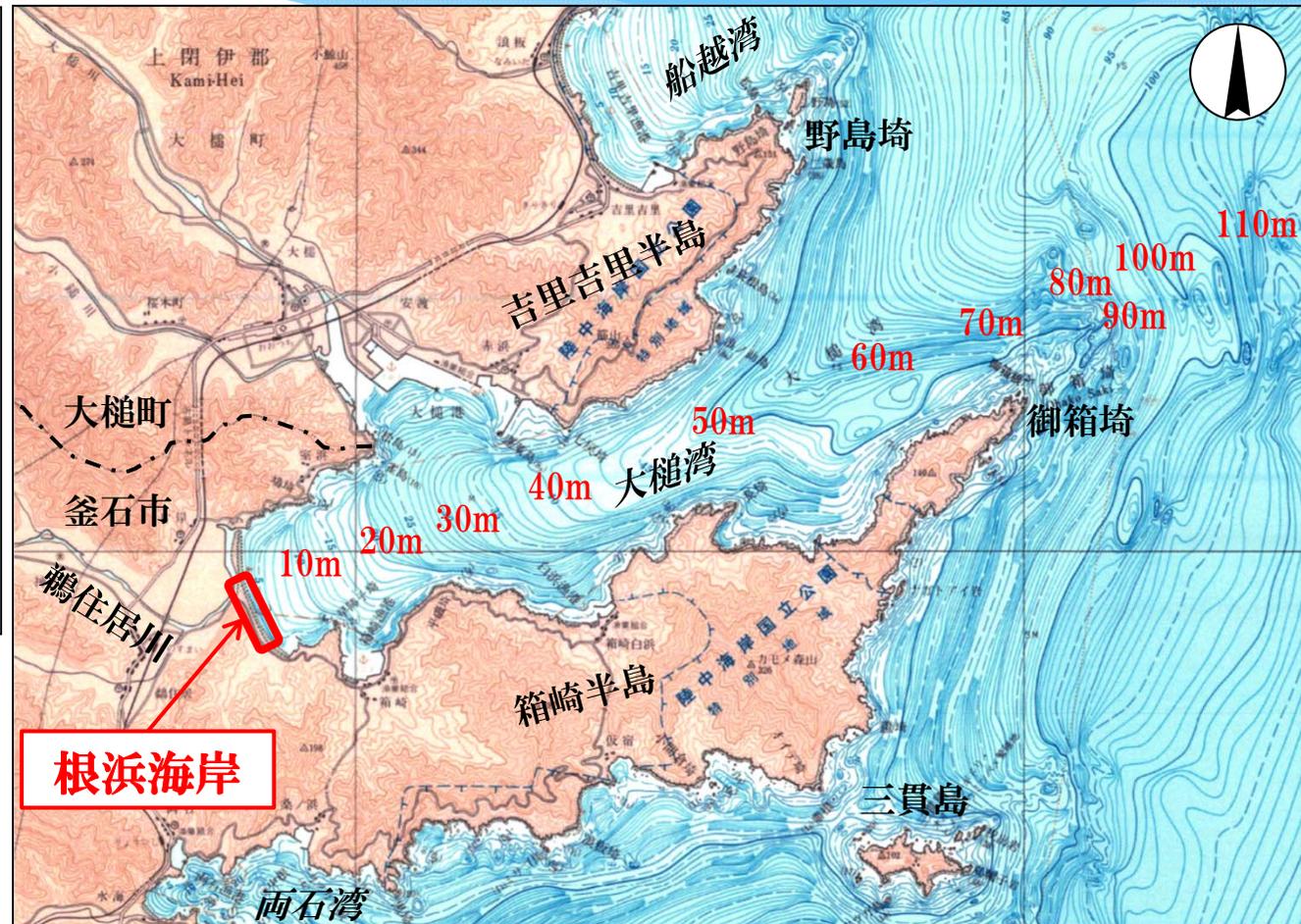
ホテルルイズ3階万葉の間

議事(1) 現状と課題

①位置・海底地形



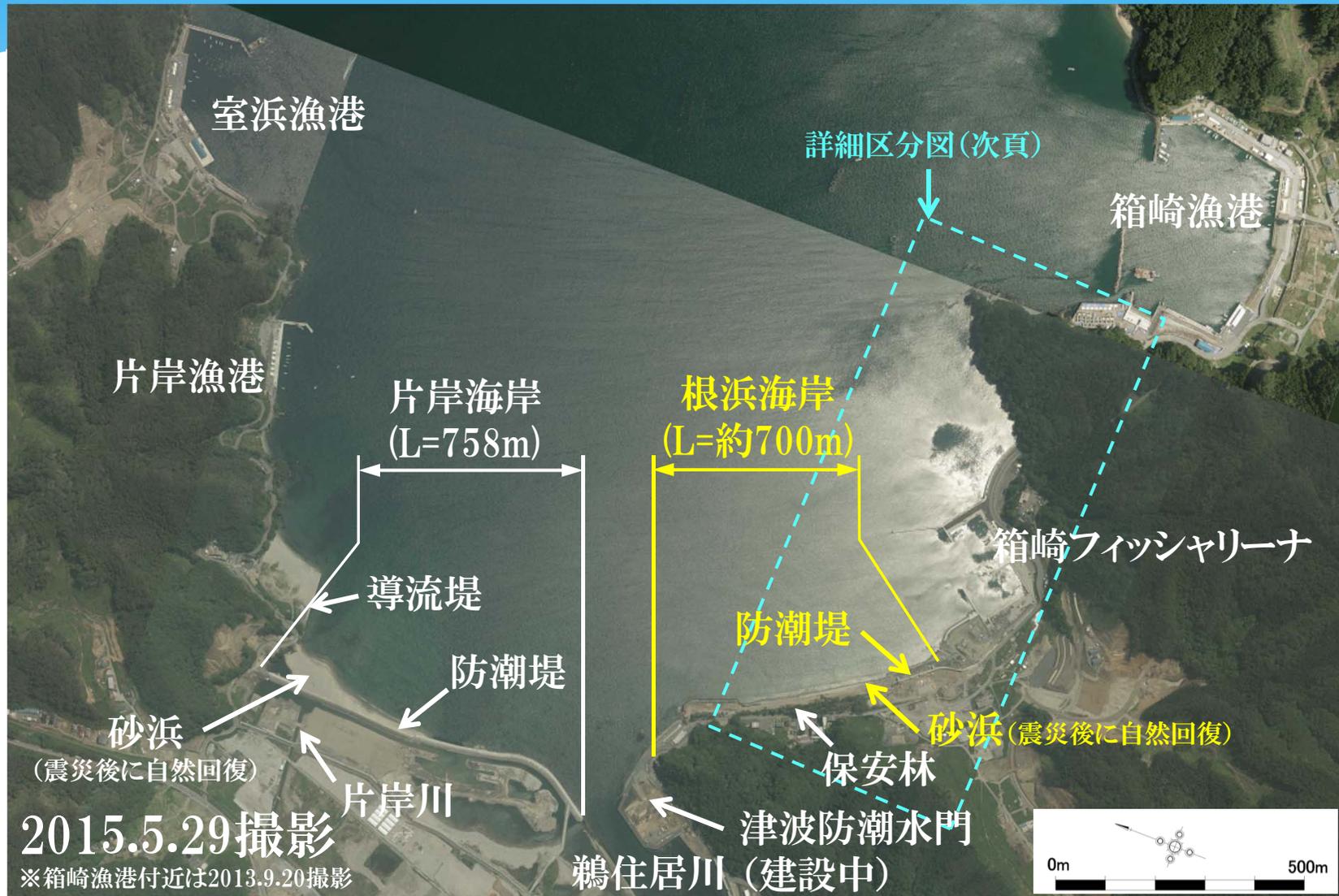
出典:国土地理院「地理院地図」より作成



出典:海上保安庁「海の基本図 第6320号、釜石湾」より作成

議事(1) 現状と課題

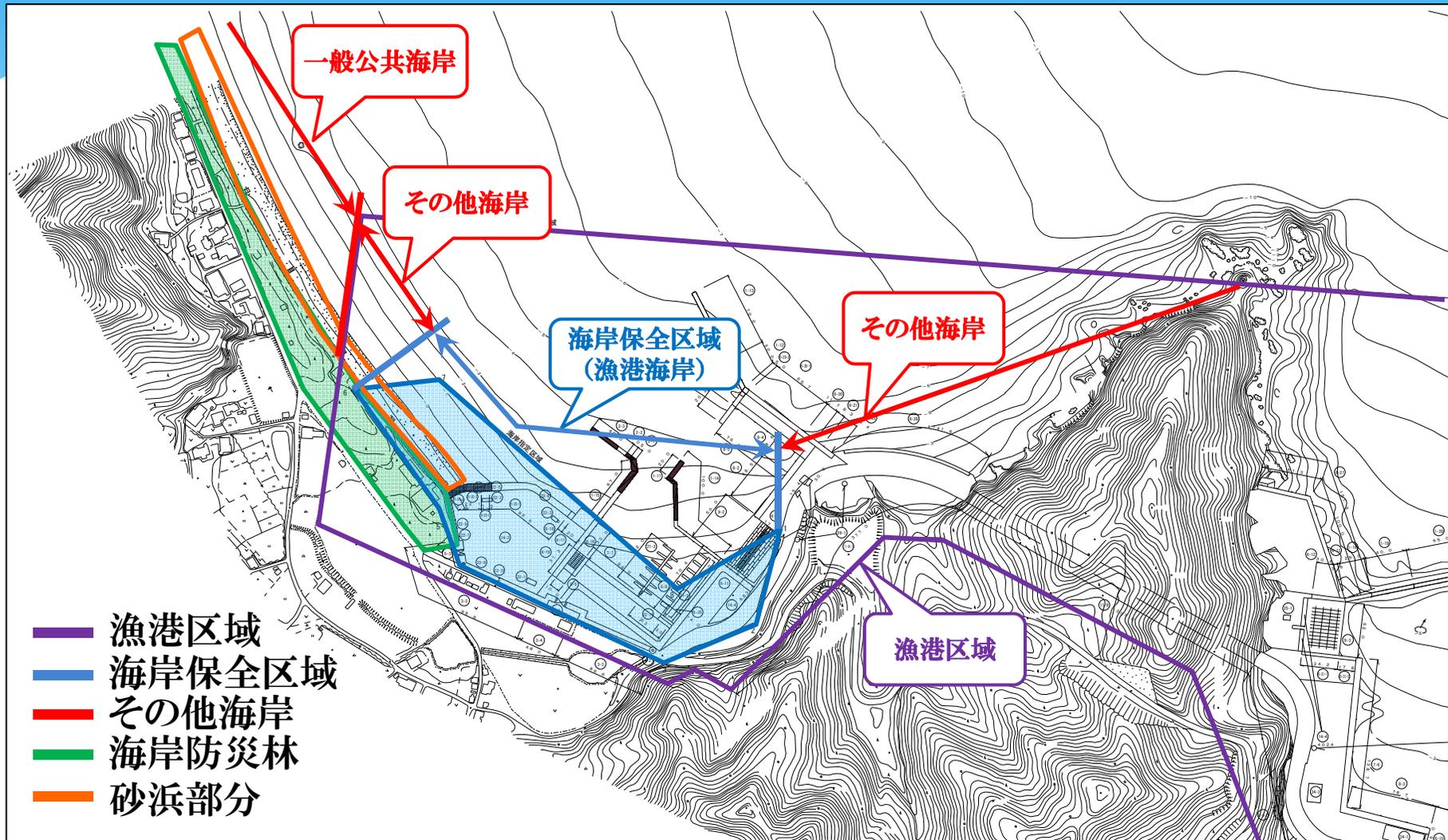
②対象海岸(2015年、現況)



出典:国土地理院撮影空中写真より作成

議事(1) 現状と課題

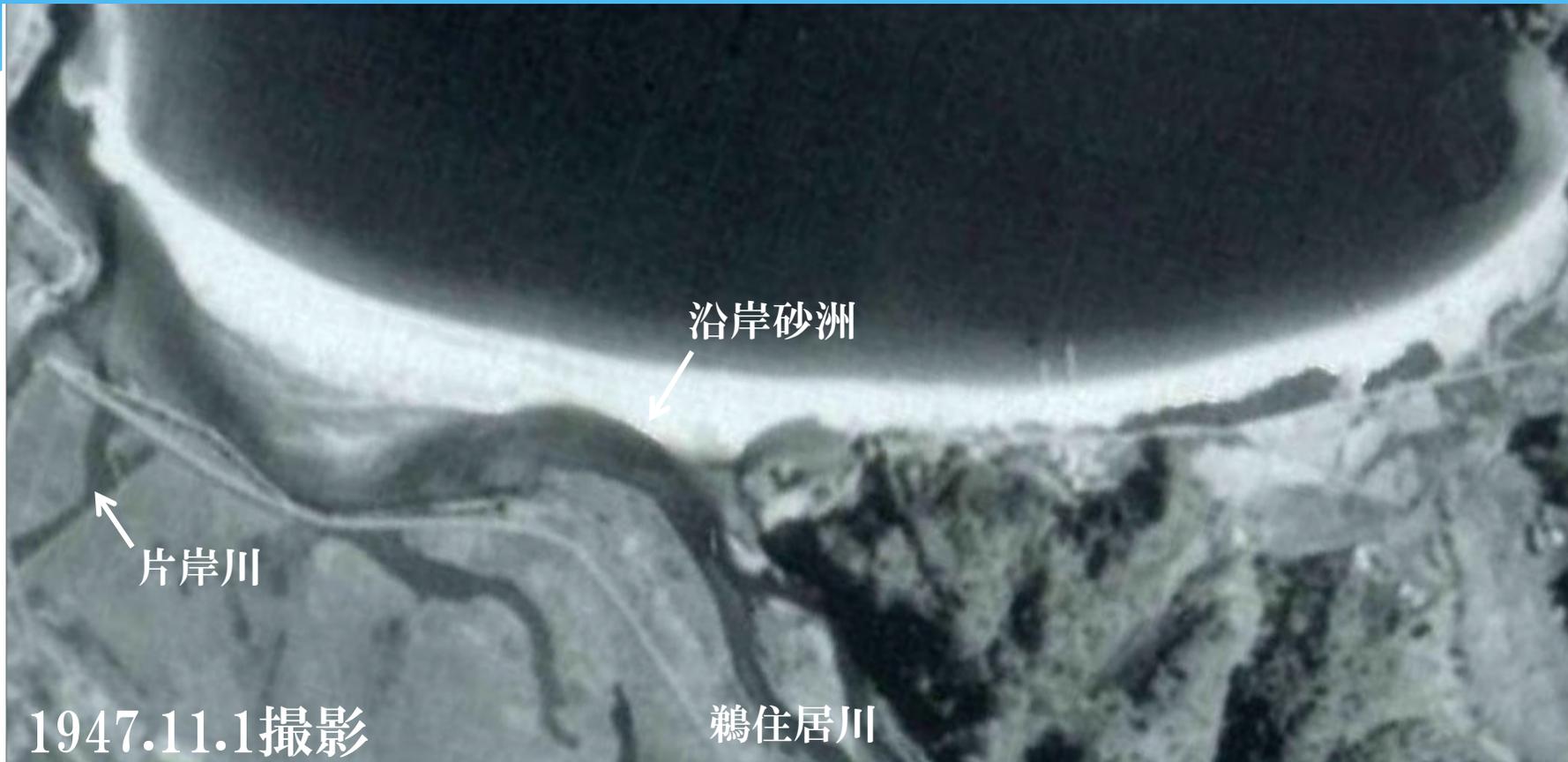
②対象海岸(根浜海岸周辺)



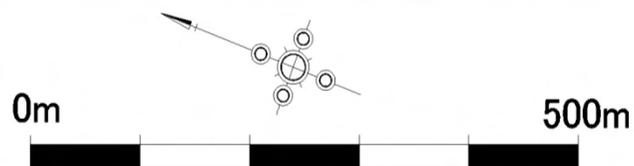
出典: 県提供資料

議事(1) 現状と課題

③海浜の変遷(1947年)



出典:国土地理院撮影空中写真より作成



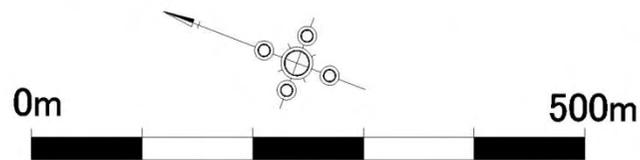
- 砂浜背後に防潮堤は建設されていなかった
- 鵜住居川、片岸川河口は室浜付近に位置していた

議事(1) 現状と課題

③海浜の変遷(1977年)



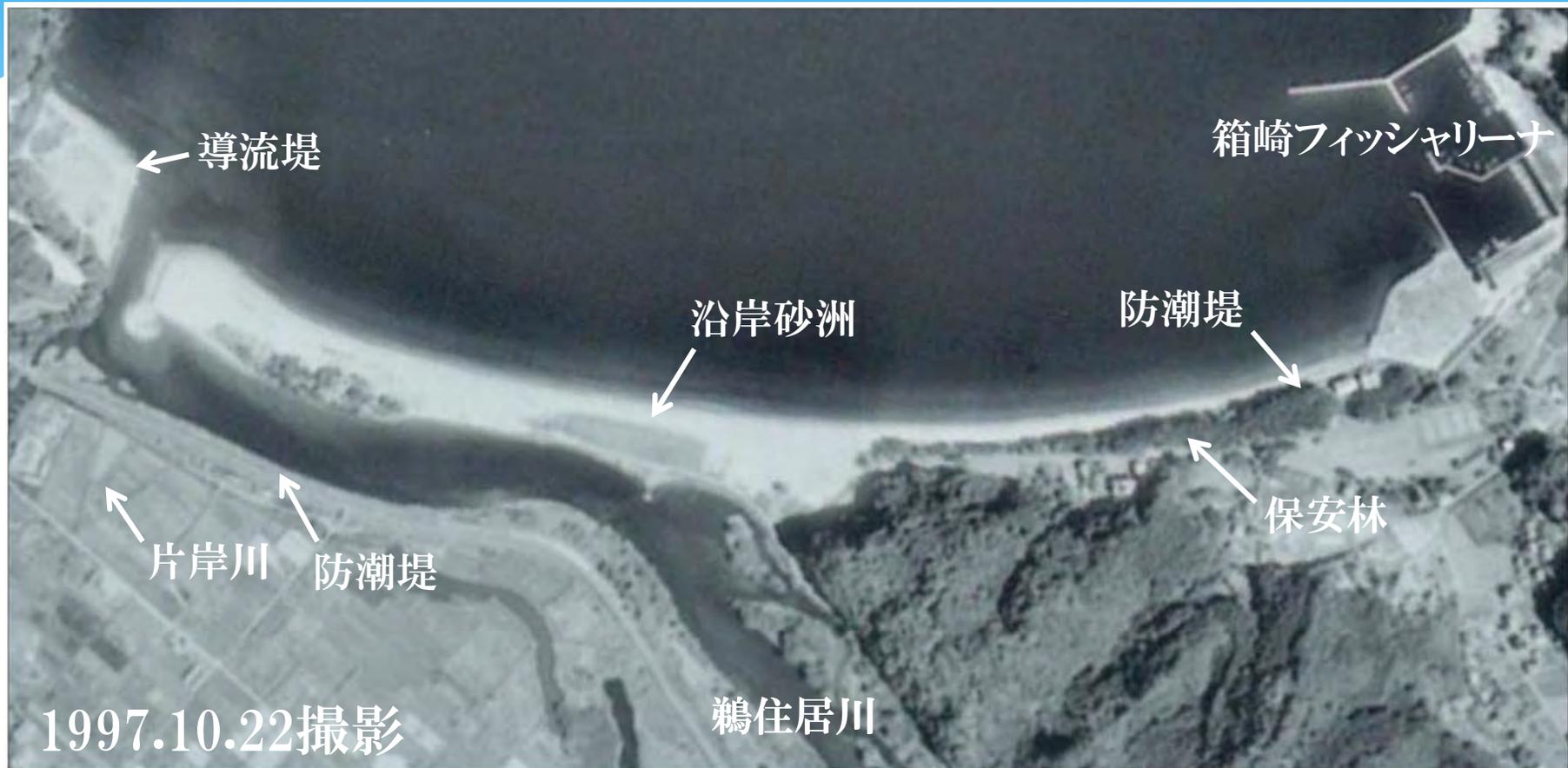
出典:国土地理院撮影空中写真より作成



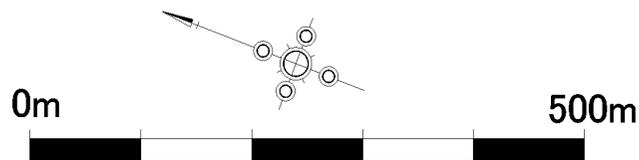
- 70年代までに保安林前面に防潮堤が建設された
- 鵜住居川のフラッシュにより砂州が分断された
- 片岸川河口付近に導流堤が建設された

議事(1) 現状と課題

③海浜の変遷(1997年)



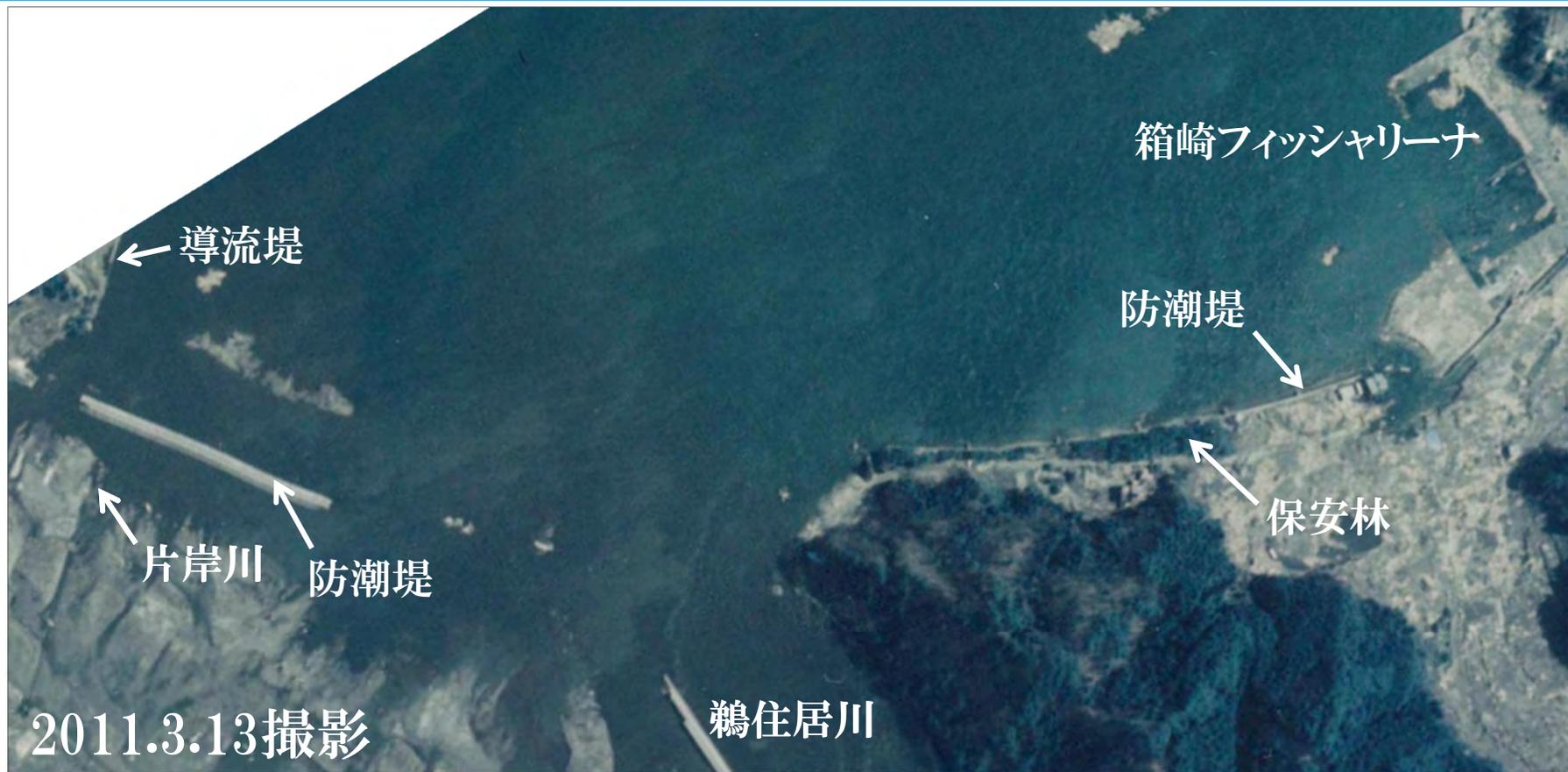
出典:国土地理院撮影空中写真より作成



- 90年代に南端の箱崎フィッシャリーナの建設が進み、防波堤北側に堆積域が出現した

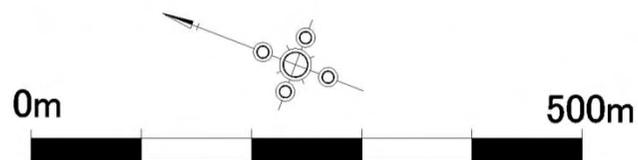
議事(1) 現状と課題

③海浜の変遷(2011年、被災直後)



出典:国土地理院撮影空中写真より作成

- 東日本大震災の津波により、砂浜および砂嘴が消失し、防潮堤は破堤した

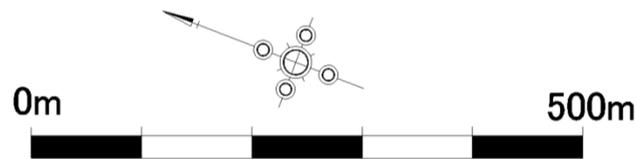


議事(1) 現状と課題

③海浜の変遷(2015年、現況)



出典:国土地理院撮影空中写真より作成



- 防潮堤が復旧し、津波で流出した砂が防潮堤の前面に堆積した
- 鵜住居川河口右岸では津波防潮水門が建設中

議事(1) 現状と課題

④被災前後の汀線位置の変化

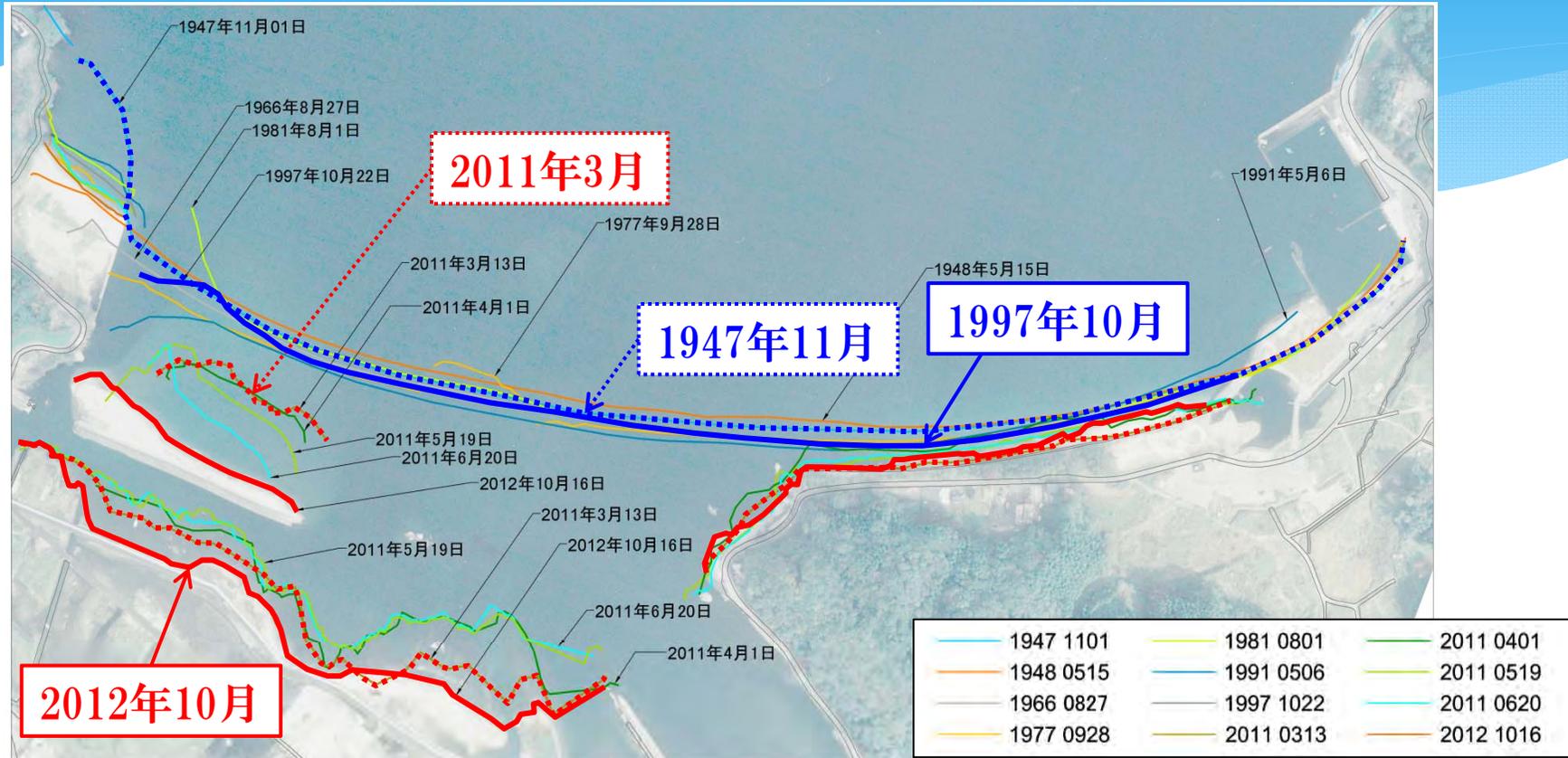
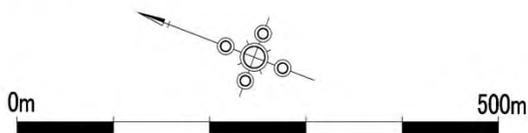


写真: 2012 1016

出典: 釜石市「平成25年度釜石市根浜海岸砂浜再生可能性検討業務報告書、平成27年3月」より抜粋

- 被災前(1947~97年): 汀線が平均10~20m程度後退
- 被災後: 2012年10月(被災約1年半後)には海岸に砂が戻り、汀線が10~60m程度前進

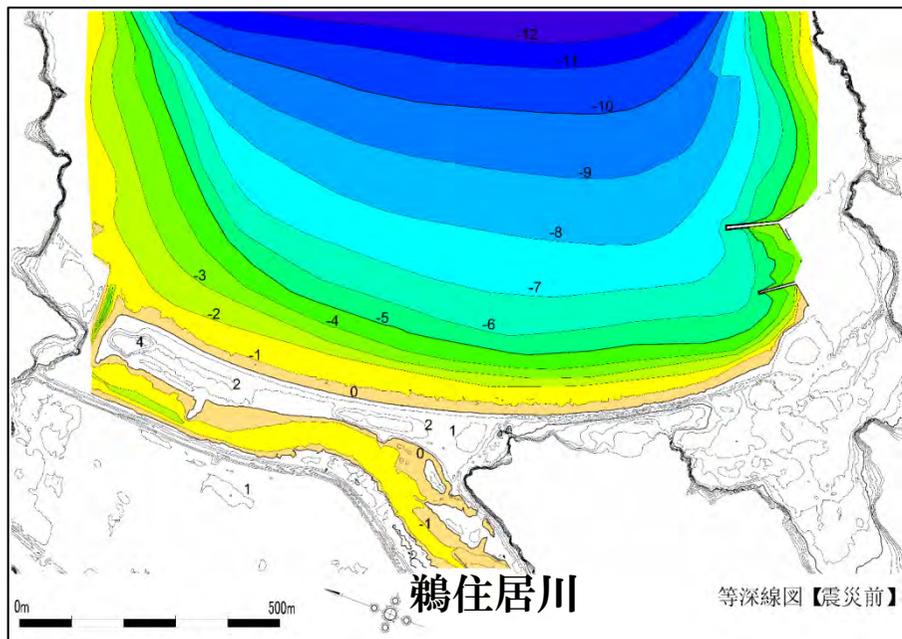


議事(1) 現状と課題

⑤被災前後の海底地形の変化(1)

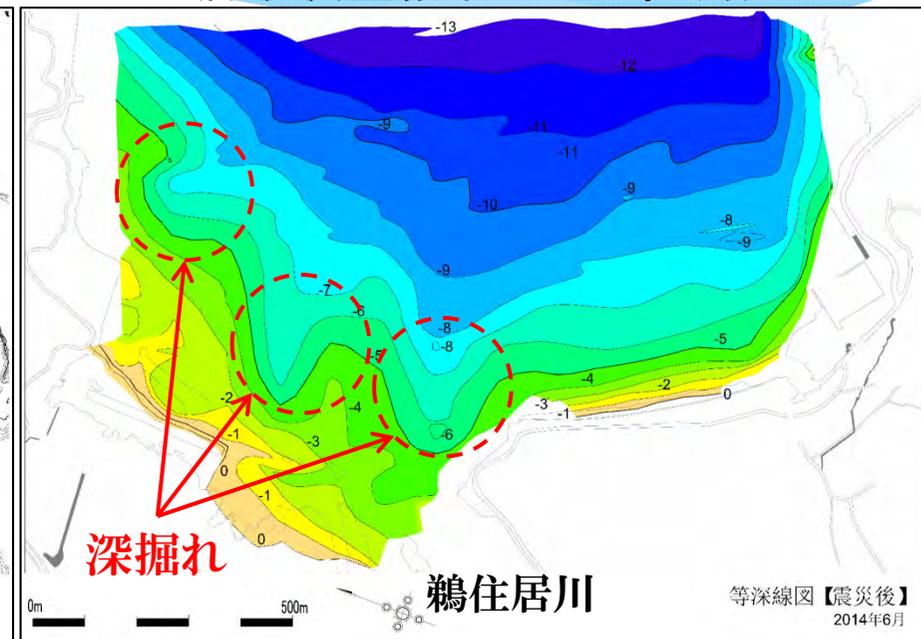
被災前

(日本水路協会海底地形図)



被災後

(深浅測量結果、2014年6月)



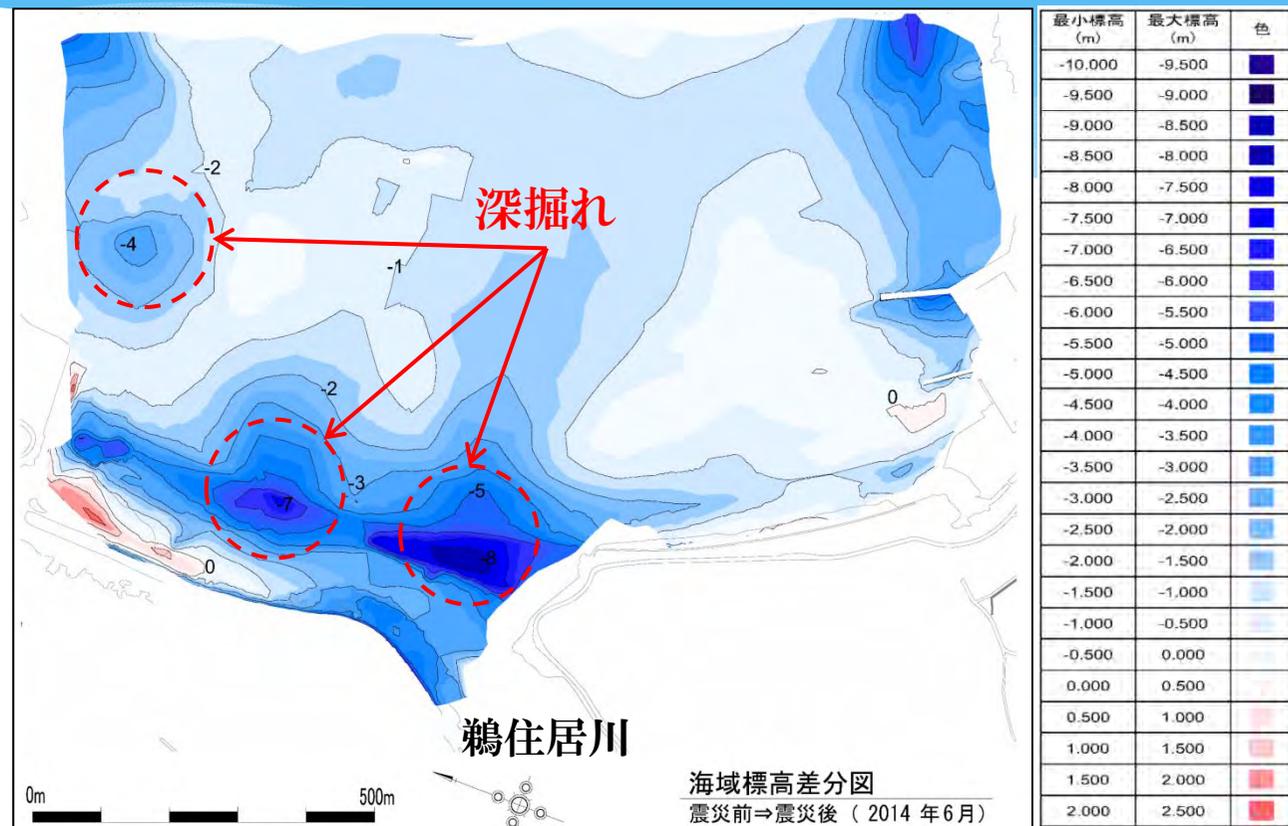
出典：釜石市「平成25年度釜石市根浜海岸砂浜再生可能性検討業務報告書、平成27年3月」より作成

- 被災後には片岸海岸沖に筋状の深掘れが形成された。深掘れは鵜住居川流路および破堤箇所と一致しており、津波の戻り流れによる侵食と考えられる。

議事(1) 現状と課題

⑤被災前後の海底地形の変化(2)

被災前後の
標高差分図
(被災後-被災前)



出典: 釜石市「平成25年度釜石市根浜海岸砂浜再生可能性検討業務報告書、平成27年3月」より作成

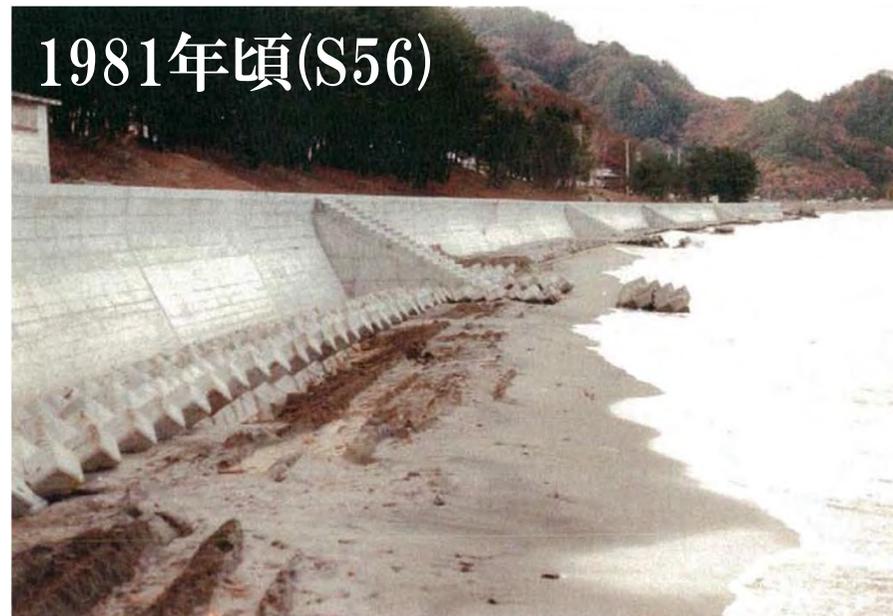
- 深掘れ箇所では、被災前と比べて4~8m程度、水深が増大
- 震災の津波で流出した砂が片岸海岸の防潮堤前面に戻りつつある

議事(1) 現状と課題

⑥現地状況 (1980年代)



出典:国土地理院撮影空中写真より作成



出典:釜石市「平成25年度釜石市根浜海岸砂浜再生可能性検討業務報告書、平成27年3月」より作成

- 根浜海岸の防潮堤は、治山事業(防潮林造成)の一環で1962年(S37)より建設が始まった
- 1981年頃の写真では、防潮堤前面の砂浜幅は20m程度と推定される

議事(1) 現状と課題

⑥現地状況 (かつての海岸利用状況)



出典:釜石市提供(年代不明)



- 被災前には釜石市有数の海水浴場として賑わっていた。

議事(1) 現状と課題

⑥現地状況(現況)



出典:国土地理院撮影空中写真より作成



A地点、2014年(H26)



B地点、2015年(H27)

出典:釜石市「平成25年度釜石市根浜海岸砂浜再生可能性検討業務報告書、平成27年3月」より作成

- 2014年撮影のA地点では、防潮堤前面の砂浜幅は15m程度と推定される
- 2015年撮影のB地点(川側)では、砂浜幅が10m未満と推定され、北側(川側)へ向かうほど砂浜幅が狭くなっている。また、海浜は礫で覆われている。

議事(1) 現状と課題

⑦砂浜復元状況



出典:国土地理院撮影空中写真より作成

根浜海岸(2017年4月)



議事(1) 現状と課題

⑦砂浜復元状況



出典:国土地理院撮影空中写真より作成

根浜海岸(2017年4月)



議事(1) 現状と課題

⑦砂浜復元状況



出典：国土地理院撮影空中写真より作成

片岸海岸(2017年4月)



議事(1) 現状と課題

⑦砂浜復元状況



出典：国土地理院撮影空中写真より作成

片岸海岸(2017年4月)



議事(1) 現状と課題

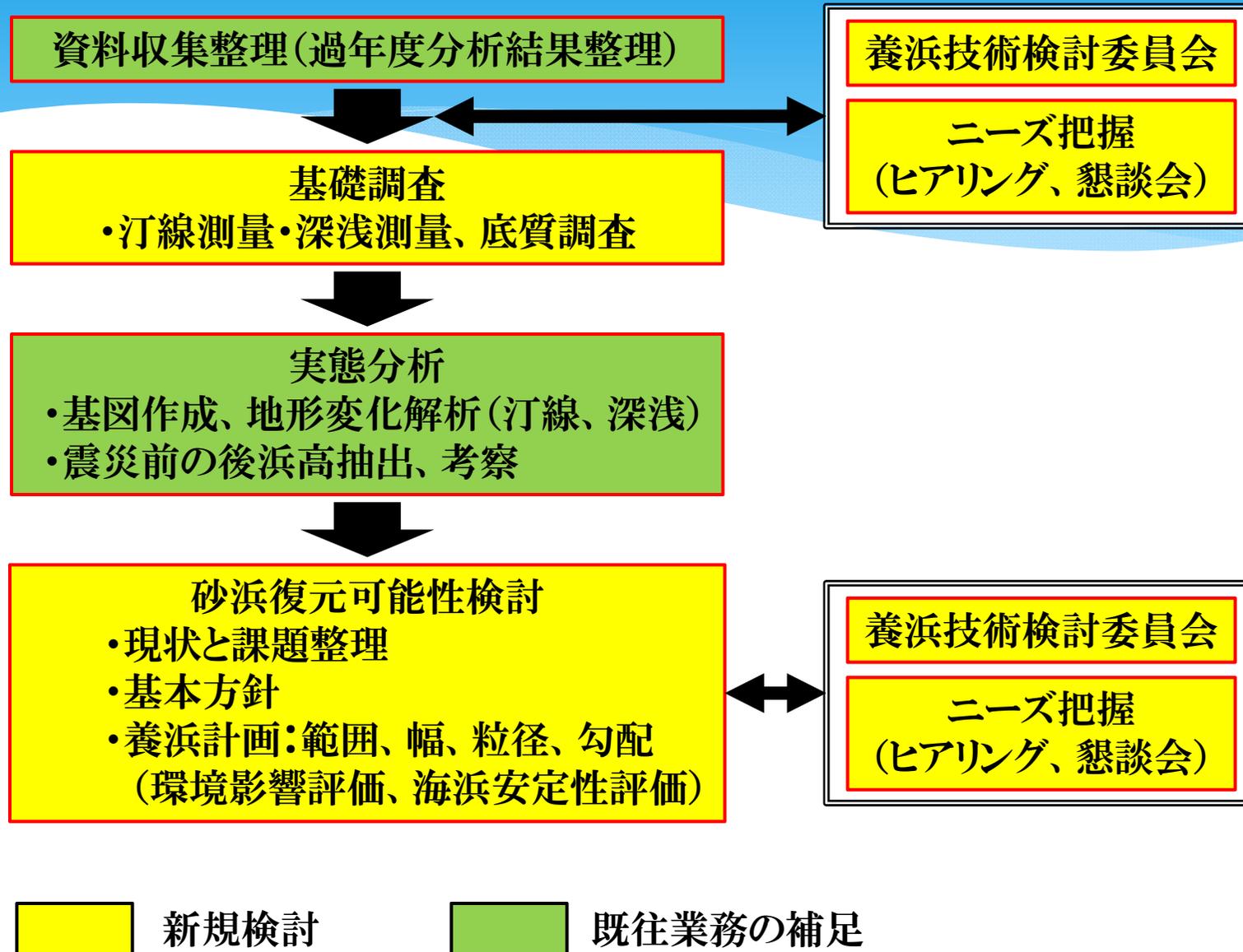
⑧砂浜復元に向けた課題

- a) 復元する砂浜の形状
 - 復元する場所(位置、範囲)
 - 砂浜の幅、勾配(粒径に依存) ※計画目標

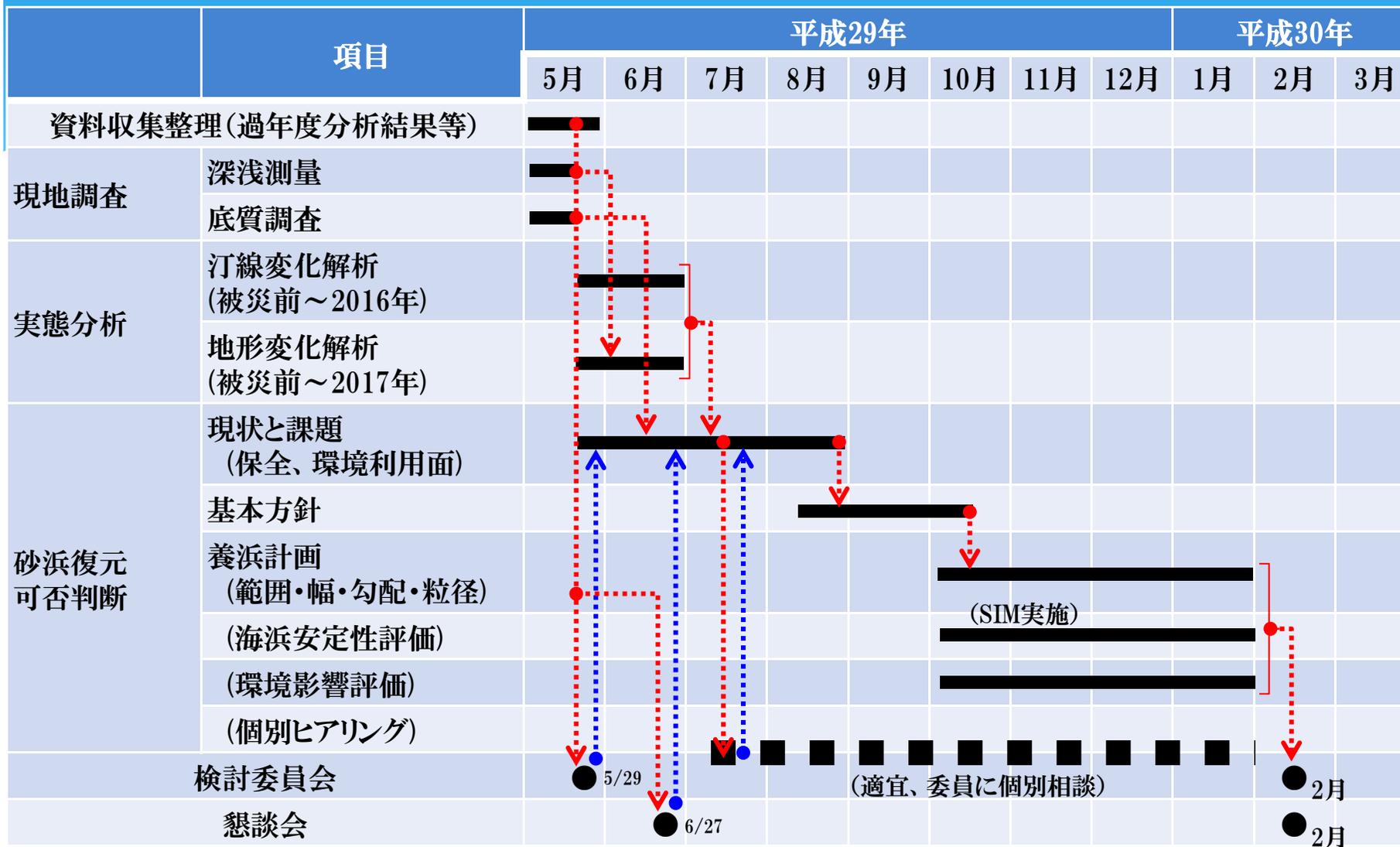
- b) 材料(養浜砂)
 - 養浜砂の調達先、方法
 - 調達可能な砂の量と質(粒径)

- c) 技術的課題
 - 砂浜の安定性評価(漂砂シミュレーション等)

議事(2) 調査計画(案)



議事(2) 調査計画(案)



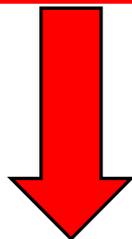
議事(3) 今後の進め方

平成29年5月29日 第1回検討委員会
【議題】・委員会設立
・現状と課題、調査計画(案)



平成29年6月27日 第1回懇談会
【内容(案)】・現状と課題、調査計画

※意見要望



第〇回検討委員会 個別相談
【議題(案)】・実態分析結果、現状と課題
・砂浜復元の基本方針、砂浜復元方策(案)



平成30年2月頃 第2回検討委員会
【議題(案)】・砂浜復元可能性(案)



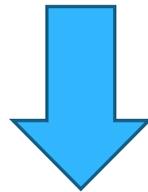
平成30年2月頃 第2回懇談会
【内容(案)】・砂浜復元可能性

養浜技術検討委員会の位置付け

技術的検討

根浜海岸復興
養浜技術検討委員会
※本委員会

技術的知見
再生可能性等



ニーズ等

根浜海岸砂浜再生
懇談会

ニーズの把握

議事(3) 今後の進め方

・根浜海岸砂浜再生懇談会 構成(案)

根浜海岸砂浜再生懇談会

【学識】

水工学、水産

【行政】

県（海岸、防潮堤
管理者）、市

【地元代表者】

市民団体、NPO、漁業関係者、
ユーザー代表、経済・観光、環境